

令和7年度 第1回江南市健康づくり推進協議会 会議録

開催日時 令和8年1月29日（木） 午後2時から午後3時40分

場 所 江南市保健センター 健診スペース

出席者 出席委員 17名

長谷川 真子（学識経験者）	岩田 和久（医療関係者）
森 昭一郎（医療関係者）	加藤 眞司（医療関係者）
伊藤 博美（保健関係者）	栗本 浩一（福祉関係者）
櫻澤 弘章（関係機関代表者）	村瀬 勝弘（関係機関代表者）
久村 幸則（関係機関代表者）	後藤 千恵（関係機関代表者）
佐々木 洋治（関係機関代表者）	前川 晶（関係機関代表者）
横山 久美子（関係機関代表者）	山名 久子（関係機関代表者）
中村 久美（市民代表）	藪見 武彦（市民代表）
牧野 行洋（市議会議員）	

欠席委員 なし

事務局 健康こども部長 健康づくり課長 健康づくり課主幹
健康づくり課健康推進グループ職員3名

傍聴人数 なし

1. 会議次第

<あいさつ及び委員の変更について>

<報告事項>

1. 第3次健康日本21こうなん計画の概要について
2. 第3次健康日本21こうなん計画【市の取組状況】について
3. 第3次健康日本21こうなん計画【わたし（個人）の取組状況】について
4. 「健康推進に関する協定」に基づく取組状況について
5. 他業種連携の状況について

<協議事項>

1. 健康づくりの重点施策について
 - A. 市の取組
 - ①個別がん検診について

- ②節目年齢歯科健診について
- B. アイデアを頂きたい事項
 - ①検診（健診）の受診率向上にむけた周知方法について
 - ②周知の機会の多様化について

2. 会議経過

<p>会 長</p> <p>事 務 局</p> <p>会 長</p> <p>事 務 局</p> <p>会 長</p>	<p>【あいさつ】 健康こども部長及び会長あいさつ</p> <p>【委員の変更及び副会長の選任について】 江南市健康づくり推進協議会設置要綱の規定により、委員の互選により副会長に栗本委員を選出。</p> <p>報告事項１～５の５件は関連する内容となりますので、一括議題とします。</p> <p>【報告事項１～５】 (説明)</p> <p>報告内容へのご質問、ご意見などございましたらお願いします。</p> <p>(質問、意見なし)</p> <p>ご質問、ご意見もないようですので、協議事項１に移ります。「健康づくりの重点施策」の「A. 市の取組 ①個別がん検診について」事務局から説明をいただいた後、協議に移りたいと思います。</p> <p>【協議事項１】 (説明)</p> <p>がん検診の受診対策について協議事項にあがりました。個別がん検診を実施している尾北医師会の岩田委員にご意見を伺いたいと思います。個別がん検診を実施されている中で、受診率・受診数について何かご意見がありましたらお願いします。</p>
--	---

委 員	<p>当院では、レントゲン装置を入れ替えた関係で7月末まで業務ができませんでした。また、9月からインフルエンザ患者数が増え、10月に布袋小学校が学級閉鎖となり1か月にわたって流行したので、がん検診よりもインフルエンザワクチン接種に力を入れていました。そのため、受診者数が少ない状況であります。</p> <p>肺がん検診についてですが、結核の病変がある場合、それが現存して一定数肺がんが発生したり死亡している状況があるので、財源の問題はありますが一宮市のように検診料を無料化して受診を推進した方がよいと感じています。また、胃カメラは受診間隔が2年に1回とされていますが、バリウム検査についても同じく2年に1回でよいと言える方がいて、当院の考えとの違いに困っています。</p> <p>検診受診者については、毎年同じ方が受診している傾向があります。江南厚生病院で受診した場合、当院でもできる一般の血液検査だけやって終えている方がいます。乳がんや子宮がんなど大きな問題になりますので、江南厚生病院でがん検診を全部受けていいですよと案内はしています。胃がん検診のバリウム検査についても、江南厚生病院で受診していただいてもかまいませんが、窓口で胃カメラを勧められるのか受診に繋がっていない状況です。</p> <p>また、受診率が伸び悩む原因として物価高の影響があると考えます。薬の処方について、本当は飲んだ方がいい人もとりあえず薬を辞めてみたいと話される方がみえますし、症状が落ち着いている場合は減らしていく考えが医療関係者の中でもあります。世の中的にもあんまり良くない方向に向かっていると感じています。</p>
委 員	バリウムは体に悪いと聞きますが、先生のお考えをお聞かせください。
委 員	<p>個人の意見では、バリウム検査をやらなくても胃カメラ検査をやっていたら良いと考えています。江南厚生病院でやりたいと希望があれば紹介していく考えですが、その勧めにも答えてくれず受診に繋がっていない状況です。節約されている方も多くみえますし、週刊誌の記事の影響を受けて様々なご意見を言われる患者さんもみえます。健康の方は良いですが、リスクのある方に対しての対応に困っています。</p>
委 員	色々な情報があり、何をもって判断したらよいか分かりません。
委 員	ネットなどの情報は全部間違っているとはいいいませんが、正しい情報が

		<p>埋もれてしまってどのように選んでいけばよいか判断に迷うと思います。例えば高血圧の判断基準が去年 140mmHg から 130mmHg となりました。しかし、世に出ている情報には 140mmHg と書いてあるため薬は必要ないと訴えられる患者がいて、説明が難しくはなっています。</p>
会	長	<p>ありがとうございます。岩田委員から出た意見として、がん検診を受けるとなってもその背景に社会的・経済的な問題があるということ、そして山名委員とのやり取りの中でもありましたが、情報をどう選ぶかというところも課題になるということが分かりました。</p> <p>がん検診について、江南厚生病院は一手に引き受けてみえると思いますが、何か意見などありますか。</p>
委	員	<p>江南厚生病院でもがん検診をやっていますが、一手に引き受けているわけではなく開業医さんでもできる検査はやっていただき、さらに精査が必要であれば紹介していただく流れになります。がん検診の受診率が低い問題については岩田先生の意見にもありました通り、同じ人が毎年か2年前に検診を受けていて、その人数が変わらないので、高齢者の受診者が抜けていくとちょっとずつ減るのではないかと考えます。</p> <p>バリウム検査については、高齢者の誤嚥が問題になります。バリウムを肺に入れてしまう人が増えているので、事前に問診を通して誤嚥の危険のある人は胃カメラ検査に誘導しています。当院でも胃カメラを初めて受ける方もみえますし、年々需要が増えて2月まで予約がいっぱいになっている状況ですから、可能な限り受診枠を増やしていきたいと思っています。どうしてもマンパワーが必要ですので、現状では可能であれば増やすような方針であります。</p> <p>がんに対して関心のない人をどうやって検診に誘導するかというのが非常に大事なことだと思います。市では郵送と広報で検診の案内をされているかと思いますが、それに加えて人が集まるところや医療機関でポスターを掲示するなどの啓蒙活動を地道にやっていくのが一番ではないかと考えます。特に若い世代に「がんになったら怖い」ということを啓蒙していくよう案内できると良いと思います。</p>
会	長	<p>ありがとうございます。先ほど山名委員から意見をいただいた「バリウムが体に悪い」という話は、バリウムが悪いわけではなく高齢者が誤嚥する危険があるため悪いという情報が抜けてしまい、バリウムが悪いと</p>

	言われている可能性がありますか。
委 員	はい。また、便秘の人がバリウムを飲んだ場合、それが詰まって憩室炎を発症しバリウムがきっかけで病気になることがあるので、危険のある人はやめた方が良いでしょう。
会 長	ありがとうございます。バリウム検査自体が悪いわけではなく、人によって適さないという情報が正しく伝わりきらないところが課題になるということが分かりました。 今までの意見が出た中で、他委員さんから何かご質問やご意見はありますか。
委 員	検査被ばくという問題もあると思いますが、先生のお考えをお聞かせください。
委 員	検査自体の被ばく量は、計算をしてカウントしています。バリウム検査自体で健康に問題になるほどの被ばくが起きることはないと考えています。
委 員	毎年バリウム検査を受けて大丈夫ですか。
委 員	毎年受けていただいて問題ありません。
会 長	委員の皆さんから意見をいただき、検査自体の疑問が解決していくよう情報を伝えるということががん検診そのものに必要と感じました。 では、事務局にお返しします。
事 務 局	貴重なご意見ありがとうございます。令和7年度から実施期間を6月中旬から12月末まで拡充をしました。これまで各医療機関の先生方やスタッフの皆さんには、10月末までという短い期間に負荷のかかる状況で実施していただきましたが、実施期間を拡充したことで、より丁寧な患者さんへの支援をしていただけたようになったと感じています。 市の受診率については資料の通りとなっていますが、働き世代の方々、職域の検診の受診率が市では把握ができない状況となっています。そうした中で今後、商工会を通して市内の事業者向けにがん検診の周知をしっかりとやっていきたいと考えています。

	また、バリウムという薬剤やレントゲンの放射線に対しての不安が解消できるよう正しい情報を市のホームページから発信し、受診のための判断材料の一つとしていただけるよう取り組んでいきたいと思います。
会 長	それでは、「健康づくりの重点施策」の「A. 市の取組 ②節目年齢歯科健診について」事務局から説明をいただいた後、協議に移りたいと思います。
事 務 局	(説明)
会 長	節目年齢歯科健診の受診対策について協議事項にあがりました。歯科健診を実施している尾北歯科医師会の森委員にご意見を伺いたいと思います。
委 員	<p>節目年齢歯科健診ですが、市内の各医院で実施しています。今現在ですと、20歳から70歳までの5歳刻みの年齢と76歳を対象にしています。76歳は後期高齢者ということで、オーラルフレイルについての健診項目も実施しています。小学校から高校までは学校での歯科健診があり、その歯科健診を終えた後に歯科受診率がかなり増えます。学校や保護者からの声掛けがあり受診に繋がっていると考えます。その後、成人になると歯が痛くならないと受診しないということもあり、なかなか節目年齢歯科健診に繋がらないという現状があります。</p> <p>当院の場合、節目年齢歯科健診の対象者の内若い年齢層は、もともと歯科受診のため通院している患者さんが多いです。歯科未受診者への対策として、体の健康診査と一緒に歯科の健康診査を受けるよう啓発していくことが必要だと考えます。また、各医院から定期的に歯科健診を受けるよう声掛けを行ったりハガキでの受診勧奨をしています。節目年齢歯科健診の受診率としては年々減少しているのが現状です。</p> <p>健診対象者の76歳については、実施期間を延ばしポスターなどで啓発をすることで受診率が増えるのではないかと思います。</p>
会 長	ありがとうございました。意見にもありましたとおり普段受診している人は来ていて、受診していない人が来ていない。歯が痛くなってから初めて受診し、その後定期健診に繋がっていかないということが分かりました。そのような実態と節目年齢歯科健診のねらいについては、事務局の方で整理していただけたらと思います。

事 務 局	<p>ご意見ありがとうございます。節目年齢歯科健診について、定期的に歯科医院に通っている方については、この節目年齢歯科健診が受けられないという縛りがあります。そういった中で、歯科受診されていない方への積極的な勧奨が行政の課題だと認識しております。職域における健診では歯科健診が組み込まれていないケースがあります。日常的に把握できていない対象者の中での未受診者を拾い受診に繋げるために、現状の分析と今後の傾向をつかんでいければと考えております。</p> <p>また、国保システムを活用し江南市国保加入者の歯科治療費がどのくらいかを把握することで、節目年齢歯科健診の受診率が低くても治療費がかかってないということであれば、一定数歯の健康が保たれていると推定できるかも分析していきたいと思います。</p> <p>また、医科歯科連携として骨粗しょう症で薬を飲んでいる人は顎骨壊死を起こす可能性があるため、そのような情報を市民の方にも周知していけたらと思います。</p>
会 長	<p>続きまして、アイデアをいただきたい事項が2点あげられています。「①検診の受診率向上に向けた周知方法について」事務局から説明をいただいた後、協議に移りたいと思います。</p>
事 務 局	(説明)
会 長	<p>ありがとうございます。ここから皆様のご経験や各所属されているところでの取り組みなども合わせてご意見をいただければと思います。この健診受診率向上に向けた周知方法ということで、何かご意見はありますか。</p>
委 員	<p>歯科健診についていくつか質問があります。年齢や症状、病気の進行度など様々な要因があるかもしれませんが、何歳以上になると歯が抜けるとか、虫歯が増えるとか、前兆の症状でもよいですがそのようなデータはありますか。</p>
委 員	<p>年齢差は特になく、個人の歯質によるものが大きいです。虫歯になりにくい、歯磨きしてなくても虫歯にならない人が歯科受診をしなかった場合、歯周病などのリスク高くなる弊害があります。年齢差よりも歯並びや、乳歯から永久歯に変わる時期、子供の場合は親や食生活の影響が大</p>

	<p>きいこともあります。今は、子どものお口の健康に対して気をつける保護者が多く、定期的に健診を受けることで虫歯の罹患率はかなり低くなっています。江南高校の校医をしています、高校生も虫歯の罹患率はかなり低くなっています。</p>
委員	<p>知り合いの奈良県の出井先生は、子供の歯磨きに注力されて絵本を作っていますが、そのような啓蒙が大切だと感じています。</p> <p>また、個人的に勉強している中で口腔内フローラと腸内フローラが生活習慣病に非常に関連があるという内容を見ました。そういった視点で訴えるというのはどうでしょうか。</p>
委員	<p>腸内フローラと口腔内細菌が関連しているということですね。テレビやコマーシャルで見かけるようにはなってきたので、細菌に対するアプローチも良いかもしれません。各歯科医院や市から歯科医師会に要望を出して資料を作ることはできるかと思いますが、今後の参考にさせていただきます。</p>
委員	<p>ありがとうございます。私自身、テレビを一切見ないため、医師や専門家のインタビュー記事などを読み自分なりに研究しているつもりです。</p> <p>もう一点、私自身の経験談になりますが、6人家族4人兄弟の中で私だけ小学生のころから虫歯がありました。一生懸命歯みがきしていましたが、虫歯になり母親が歯医者に怒られていました。30歳くらいからはほぼ虫歯はなくなりましたが、ストレスに弱い面があり、歯ぎしりのため犬歯の先端がなくなっていました。対策としてナイトガードを作り、最初の頃は穴が空いていましたが最近穴が空くこともなくなり、起床時の歯の痛みや歯周病、虫歯がない状態となっています。個人的な経験のため医学に通じるかは分かりませんが、そういった観点でも資料を作ると良いと感じました。また、それらをチェックすべき健診があればと思いますがどうでしょうか。</p>
委員	<p>ありがとうございます。今のご意見についてですが、確かにストレスにより歯ぎしりをするお子さんも多いです。顎関節を見る必要がありますが、普段の歯科健診の項目に入れこむと手間やレントゲン撮影なども必要になってきます。学校の歯科健診については虫歯があるか、歯並びはどうか、歯周病か、歯石はあるかなど簡易的なスクリーニングをし、歯科治療に繋ぐような流れとなります。節目歯科健診も同じような傾向</p>

		があります。そこまでの検査をやろうと思うと、歯科健診の中ではなく、歯科受診した際にやっていく形となるかと思います。
会	長	ありがとうございました。がん検診、節目年齢歯科健診の受診行動に結びつけるための周知方法についてですが、3市2町の自治体の周知方法等を見ていらっしゃる保健所の伊藤委員、何かご意見ないでしょうか。
委	員	周知とは少し違うのかもしれませんが、市で行う色々なイベントの時に検診車をつけて、ついでに乳がん検診を行うとか。特定健診とセットで受けると何百円引きですよとか。お得感や便利さを表に出していくと良いというのは聞いたことがあります。他には一般的かもしれませんが、市の集団検診について日程表を見ると平日ばかりなので、土曜日や日曜日にもやってもらえると働いている方は受けやすいかと思っております。
会	長	ありがとうございます。検診単体ではなく他の事業と合わせたり、お得感や便利さを出す方法についてご提案いただきました。 他に、教室やイベント開催のため参加者を募集するような時に、こんな工夫しているとよく人が集まるというようなことはありますか。また、自分が受診者だった場合、興味を持つ視点についてでもかまいませんのでご意見いただけますでしょうか。
委	員	最近ですとテレビ新聞よりもスマホをずっと見ているという時代です。保健センターのホームページはすごく充実していると思いますが、静止画よりも動画で載せると良いと思います。先ほど、正しい情報の提供の話もありましたし、行動変容の面でいくと子宮頸がんワクチン接種の広告を大々的に行ったことで受診行動に繋がったとありました。対象の世代じゃない人はあまり気にならないけども、自分が病気などに直面した時、近くにがんの方がいた時、歯にダメージがきた時、歯がグラついた時に、皆さんに興味を持ってホームページを見てもらうためには、静止画ではなく動画の方が良いと思います。社会福祉協議会の方ですと色々なイベントに出て、チラシを配ります。ですが、イベントに出てこない配りようがないので、動画を配信するだけでも皆さんに見てもらえるのかなと思います。
会	長	動画という意見をいただきました。他にはいかがでしょう。

委 員	<p>がん検診の受診者がこんなに少ないとは思いませんでした。広報自体を見る人が少ないので、「くれよん」などの情報誌に記事を掲載してはどうでしょうか。例えば、がんになった人にアンケートを取って、検診で発見したとか、このように病気を乗り越えたとか、割合などの数値的なものがあると目を惹きますので、そのような情報を載せると良いと思います。</p> <p>経済的に大変だと検診を受けようか迷いますが、発見が早ければ治療費もかからないと思いますし、お得感を出してプラスの情報を載せるのはどうでしょうか。</p>
会 長	<p>ありがとうございます。若い方は広報よりタウン誌を見る機会の方が多いとありました。そういったタウン誌に体験者の声などを載せていってはどうかというご意見をいただきました。他の委員はいかがでしょうか。</p>
委 員	<p>周知についてではありませんが、乳がん検診のマンモグラフィーが痛いので、あまり受けたくないんです。検診に行こうかと考えた時に、痛みのことを思い出して受診をやめてしまうので、その辺りも考えていただきたいなと思います。</p>
会 長	<p>検査方法についてですね。被ばく量を減らすため胸を薄くする必要があるので、かなり圧迫されますよね。その辺りの情報が正しく伝わって、心構えて受診できるとよいのかなと感じます。他はいかがでしょうか。</p>
委 員	<p>周知についてですが、年齢や女性で分けるという方法があります。がんの種類によって異なるかと思いますが、何歳くらいのどのような人を受けてほしいのか明確にしてターゲットを絞るのはどうでしょうか。例えば、40歳の共働きの女性とか、子どもがいるかいないかとか、ある程度絞った方が周知方法についてアイデアが出やすいと思います。5年くらいかけて一個一個ターゲットを絞ってやっていくと傾向が分かると思います。マーケティングの基本ですね。</p>
会 長	<p>ありがとうございます。根本に戻ってがん検診をどのような人に受けてもらいたいかというところを整理できると良いですね。どこかの自治体</p>

事務局	<p>で、ウェディングドレスを着た女性の写真を用いて子宮頸がん検診の啓発をしたところ、若い方の受診が増えたというのを聞きしたことがあります。やはりターゲットを絞るということ、ご意見として貴重だなと思いました。では次に移りたいと思います。「②周知の機会の多様化について」事務局から説明をいただいた後、協議に移りたいと思います。</p> <p>(説明)</p>
会長	<p>ありがとうございます。周知の機会の多様化ということで、がん検診や節目年齢歯科健診について周知をするような機会がありましたら、ぜひご意見をいただきたいと思います。例えば、学校においてがん健康教育で子どもたちにも教育されていたりしますし、親御さんたちがちょうど働き世代かと思いますので、後藤委員にご意見を伺いたいと思います。</p>
委員	<p>学校では、歯科とがん検診に関わるような内容の教育活動を行っています。歯科では保健センターからフッ素塗布の情報をいただき、保健だよりに掲載し全校配布しています。保護者にも歯の健康に関心を持っていただけるよう配信したりお便りを配ることをしています。学童期からの意識づけが、教育の上では一番効果が出ると感じています。生涯にわたって歯科の健康に関心を持つということで、歯磨き指導や小学校5年生を対象にした歯みがき大会で歯ブラシやフロスを使った実技を交えた学習を行っています。そして、歯科健診の全員受診を目指して、小学校中学校両方とも欠席者や不登校の児童に対しても、健診機会をなるべく多く取れるように頑張っており、働きかけをしています。保護者の協力を得て受診できるようにしたり、何度も案内を送ったり、う歯のある子たちには治療の勧奨を繰り返しして歯医者さんに行っていただくということをしております。2極化が進んでると感じておりまして、意識の高い保護者やご家庭の場合は、う歯の治療をきっかけに歯医者さんと繋がって定期健診やクリーニングに通っています。反対に、乳歯のう歯をほったらかしにして永久歯に生え変わる児童もあり、乳歯のう歯を1人で3、4本持っていたりしますので、ご家庭の意識の差を学校現場では感じているところです。</p> <p>がんについては、中学校ではがんの仕組みなどを学習する機会があります。小学校では本校の場合ですと、各学年、心と体の健康を守るというテーマで保健指導を行っています。6年生ではがんについての知識を増やすということで、がんがどうやってできるのかを学んでいます。先日</p>

		<p>の保健指導の場面において、「細胞の中では、日々エラーが出て変異と修復を繰り返しながらみんな健康でいる」という話をしたら、小学生はとて驚いていて、日々がん細胞ができていることに衝撃を受けていました。このようなことはしっかり伝えていかないと、自分たちでは興味を持って情報を得ることは、なかなか無いのだなと感じました。また、がんを発見するためにはどうしたらいいか子どもたちに聞いたら、「検診だよ」という言葉が出てきました。学校内でも歯科健診や内科健診など様々な健診を受けているので、小学校の時代からも検診の大切さを学んでいるのだなと感じているところです。</p>
会	長	<p>ありがとうございます。大人になってからではなく学童期からの意識付けのお話でしたが、子どもから大人に働きかけてもらう方法もあるのかなというふうにお聞きしながら感じました。他にはいかがでしょうか。例えば、江南市のスポーツ関連のところで何か周知でできるような場面や工夫点などありましたら、ぜひご意見いただきたいと思います。</p>
委	員	<p>年に1回、KTXアリーナで楽しみん祭を催しておりまして、保健センターの協力を得て動体視力検査や血圧測定などやっています。そのような場面で、自分たちの健康を守るために検診を受けようなどの啓発をやっていくことも大切かと思います。</p>
委	員	<p>今はスポーツ流行りということで、小学生の子たちがいろんなスポーツに携わっている中で、スポーツは歯を食い縛る場面が多いと感じています。そういった部分で、クラブチームで活躍している子たちに定期的に健診を受けさせて、そこから友達など周りに繋げていくという働きかけもありかなと思いました。</p>
会	長	<p>ありがとうございます。仲間からの口コミも大事というご意見をいただきました。他になにかありますでしょうか。</p>
委	員	<p>地区の会長や老人クラブでは副会長をやっています。地区の歯医者さんに講義の依頼をしていますが、どの機会にどのように人を集めて開催したらよいか悩んでいます。</p> <p>がん検診についてですが、私は83歳ですが1回も受けていません。毎日玄米食を食べてサプリを飲んで、問題なく過ごしています。卓球の試合も年に何十回か出ています。本などを見ると、80歳を過ぎて検診を受け</p>

		<p>ると寿命を縮めると書いてあるので、今年は検診をどうするか考えている状況です。先ほどもお話したとおり人を集めて講義をしていただく機会を作る予定ですので、そこで検診について啓発していただけたらと思います。</p> <p>市老連についてですが、会員がどんどん減っていて活性化のためのプロジェクトを組んで会議を開催しています。会員を増やすという目的をもってやっております。地元では健康麻雀を発足して、脳トレを行いボケないように頑張っています。活動の結果、1年後どうなるかという形で皆さんに報告できればと思っております。</p>
会	長	<p>ご体験を含めてお話ししていただきましてありがとうございます。では、薬局の立場から加藤委員さんお願いいたします。</p>
委	員	<p>私の薬局では、4か月に1回くらい健康フェアと称してチラシを配って、声もかけると地域の人が結構集まってくれます。ということは周知の機会にも繋がるのではないかなというふうに感じています。薬局は市内に30から40くらいありますので、そういったところにポスターを貼り、検診の時期に声をかけていくと変わってくるのかなと思います。今までポスターは貼っていたかと思いますが、声掛けは行っていないところが結構あるかと思います。やはり声をかけるってことは、だいぶ影響があると感じていますので、やると良いかなと思いました。</p>
会	長	<p>ご自身の薬局での活動を含めてご提案いただきましてありがとうございます。前川委員と中村委員に何か感じられたことをお願いしたいと思います。</p>
委	員	<p>周知方法について当院で考えるとなかなか難しいところではありますが、先ほど意見に出たような掲示や声掛けが中心になるかと思います。周知場所については、市民の方々が目に留まりやすいところで、例えば商業施設や、スーパー、コンビニなどはどうでしょうか。他にも行政手続きのうちに、検診のご案内として声をかけるということが大事ではないかなと思いました。チラシ配布やポスター掲示だけではなくて、行政手続きのうちに一緒に声をかけるという方法もあるかなと感じました。</p>
委	員	<p>今日、健康診断に午前中行ってきまして、2年間空いてしまったんですけども、行かないといけないうちに行きそびれてしまいまし</p>

	<p>た。嫌だとか痛いとかいろんな理由がありますが、ポジティブに考えて健康診断を楽しめるような企画があれば、もっと行きたいなと思う人がいるかと思います。健診のスタッフの方がよくしてくださるんですね。スムーズに健診が終わるようにしてくださるし、優しい声かけをしてくださるし、本当に行く甲斐があると思うので、ぜひ周知方法をまた考えられたらと思います。</p>
会 長	<p>ありがとうございました。ポジティブにというご意見をいただきました。検診は病気を見つけるためにというよりも、安心するために行くというところが大事ではないかと感じました。</p> <p>事務局から上がっていました協議事項は以上になりますが、何かご発言を足しておきたいようなことなどよろしいでしょうか。今回は非常に多彩な意見が出ておりますので、事務局はこの意見を参考にさせていただいて、ぜひまた来年の会議の場で、どのように取り組んだかというご報告をいただければなと思います。</p>
事 務 局	<p>たくさんのご意見をいただきまして、ありがとうございます。普段気づかない視点などもご意見いただきましたので、活用させていただいて、次年度の周知・PRなどの啓発活動に努めさせていただきたいと思っております。</p> <p>本日予定しておりました協議事項はすべて終了いたしました。議事進行にご協力いただき、誠にありがとうございました。これを持ちまして、令和7年度第1回江南市健康づくり推進協議会を終了いたします。お疲れ様でした。</p>